

ぼくのふるさと、門川町

草川小学校 五年 佐藤 良亮

みなさん、こんにちは。ぼくは、草川小学校の佐藤良亮です。

ぼくは、ぼくのふるさとである門川町が大好きです。そんな門川町のよいところやこんな門川町にしたいということ、この門川町で自分の将来の夢を実現させていきたいと思っっていることを発表します。

みなさんは、門川町のよいところは、どんなところだと思いますか。ぼくが思う門川町のよいところは、美しい海があること、乙島やびろう島があること、カンムリウミスズメがいることだと思います。

一つ目の、美しい海には、新鮮な魚がいます。ぼくの住む草川には庵川漁港があります。そこでは、たくさん魚の水あげされ、せりが行われます。ぼくは、十一月に「交流草川」という活動で、庵川漁港のせりの様子を見ました。そのとき、たくさん新せんな魚と、活気いっぱいひのせりを見ることができました。いっしょに見に行った椎葉村の五年生も「魚がいっぱいある。」とか「魚が生きている。」と感動していました。ぼくは、庵川漁港みたいな、すごい漁港があつて、とても、うれしくなつたし、椎葉の友達に自慢したくなりました。

また、ぼくたちは、社会科の授業で、水産業について学習しました。その時、日本の水産業で働く人が少なくなつていふことや魚を食べる人がへつていふことを学習しました。庵川漁港のような、すごい漁港がある門川町だから、これからも、もっと水産業がさかえていくといいなと思つていふます。

二つ目の乙島やびろう島は、わくわくするような無人島です。乙

島には、「交流草川」の活動で行きました。船に乗つて、乙島の周りをクルージングしました。いつもは、道路から見えない乙島の東側にも行くことができました。乙島の東側には、どうくつがあつて、そのどうくつの中にまで、船で入ることができました。どんな遊園地のアトラクションよりもすごいと思ひました。椎葉の友達も、船や乙島に感動していふました。ここでも、ぼくは門川町をすごく自慢したい気持ちでいっばいでした。

また、びろう島には、三つ目に自慢したいカンムリウミスズメが生息していふます。ぼくは、カンムリウミスズメを一度見に行つたことがありふます。十月の参観日の時に、カンムリウミスズメにくわしい「中村豊先生」の話を聞きふました。カンムリウミスズメは絶滅きぐ種で世界的にもきちやうな鳥だそうです。これからぜつめつしないように、ぼくたちが守つていかなければならないと思ひます。そのため、びろう島や海にゴミを落とさないようにしていきたいと思ひます。それはびろう島や門川町の海だけでなく、世界中で大切なことだと思ひます。

さて、次に、ぼくが「こんな門川町にしたい。」と思ふことを発表しふます。

ぼくは、こんな門川町にしたいと思ふことが二つありふます。

一つ目は、あいさつができる門川町です。理由は、あいさつをすること、自分も相手も気持ちよくなるし、あいさつをすること、人となかよくなれる機会が増えると思ふからです。ぼくが、あいさつができる門川町にするために努力していふことは、地域の人や、朝、登校していふるときに立つてくださつていふ保護者の方々、見守りネットワークの方々などに、自分の方から先にあいさつをすることを努力していふます。あいさつをすると心が気持ちよくなるので、毎朝あいさつをしていふます。それから、あいさつをされたら、

しつかりあいさつを返すことも心がけています。あいさつをしたのに無視をされたら、とてもいやな気持ちになると思うからです。相手の気持ちを考えてあいさつをすることが大切だと思います。

二つ目は、助け合う門川町です。理由は、困っている人がいたら助けたり、協力したりすることで、友達になれるし、自分が困っているときも助けてもらおうといううれしいからです。

前にも紹介した「交流草川」の活動は、二十七年も続いている、椎葉の五年生と草川小学校の五年生が、春と秋に、それぞれ学校に行く交流活動です。あいさつでみんながなかよく、助け合える門川町だったら、椎葉の人たちも、門川町のことがますます好きになると思います。だれもが大好きになる門川町にしていきたいと思いません。

最後に、この門川町で自分の将来の夢を実現させていきたいと思っていることを発表します。

ぼくの将来の夢は「陸上の選手」です。ぼくは、特に、長距離を走る選手になりたいです。長距離の選手になりたい理由は二つあります。

一つ目は、お父さんにすすめられたからです。お父さんは、子どもころ陸上をやっていて、長距離が得意だったそうです。だから、ぼくもお父さんと同じように、長距離を走ってみたいと思い、走っているうちに、どんどん好きになったからです。

二つ目は、長距離は、最後まで順位が分からないところがおもしろいからです。短距離だと、すぐに終わって結果が出てしまうけど、長距離は、走る距離が長いので、最後の直線でスパートをかけたり、ロングスパートをかけたりして、最後まで順位が分からないからです。

ぼくは、夢をかなえるために、陸上のクラブチームで練習してい

ます。海浜公園でも陸上の練習をしています。クラブチームには、ライバルもいます。ライバルに負けないようにがんばっています。大好きな門川町で、大好きな陸上をがんばって、将来の夢をかなえ、もつと大好きな門川町にしていきたいと思えます。今日、発表したことが、これからの自分の目標になっていくと思えます。